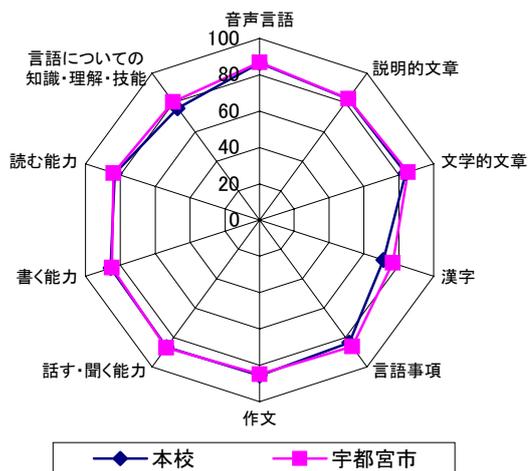


# 宇都宮市立宝木小学校第6学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	86.5	86.8
	説明的文章	82.5	82.6
	文学的文章	83.9	85.2
	漢字	71.2	76.4
	言語事項	83.6	86.2
	作文	85.5	84.9
観点別	話す・聞く能力	86.5	86.8
	書く能力	85.5	84.9
	読む能力	83.2	83.9
	言語についての知識・理解・技能	76.1	80.3



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (86.5%)	正答率は市平均とほぼ同等であった。出題内容では、話し方の工夫の聞き取りは市の平均をやや上回ったが、話の内容の聞き取りや、話し合いの流れに沿った自分の意見を書く問題の正答率がやや下回った。	普段の話の聞き方を、他教科や学校生活のいろいろな場面で指導していく。講話などの折に話の中心が何だったかについて振り返る機会を作る。
説明的文章 (82.5%)	正答率は市平均とほぼ同等であった。出題内容では、段落と段落の関係の設問は市の平均を上回ったが、文脈に即した内容の理解が下回った。	文脈に即した内容の理解や文章全体の内容の理解など、国語の学習で大切な語句や文章表現を押さえながら考えるように指導していく。また、読書を薦め、長文理解の基礎を培う。
文学的文章 (83.9%)	正答率は市平均をやや下回った。出題内容では、登場人物の心情や場面の様子の読み取りが下回った。	国語の学習で、登場人物の心情や場面の様子の理解のために、登場人物の心情や場面の様子のわかる語句や文章表現を押さええて考えることを指導していく。また、読書活動を薦め、文章表現に親しませる。
漢字 (71.2%)	正答率は市平均を下回った。特に「視野」「改革」の読みが特に下回り、「限界」「再び」の書きがやや下回った。	漢字スキルを活用し、6年で学習する漢字だけでなく既習の漢字の書きや読み、熟語等を練習させていく。また、文章を書いたり写したりする際はノートを書いたり、作文などの文章を書いたりする際は、習った漢字を意識して使うように指導していく。
言語事項 (83.6%)	正答率は市平均をやや下回った。どの問題もやや市の平均より低めで、苦手であることがうかがえる。	熟語の構成についてはもう一度確認し、敬語の使い方や辞典を引くこと、同訓異字については日常生活や学習の中で使って指導していく。
作文 (85.5%)	正答率は市平均をやや上回った。後付けを入れて書くことは下回ったが、書き出しの挨拶や依頼の言葉、結びの挨拶を入れて書くことは上回った。	手紙の形式については学習しているが、手紙を書く機会はあまりなかった。教科や総合などで書く機会を設け、書き出しの挨拶や依頼の言葉、結びの挨拶後付けなど手紙に必要なことを再度指導していく。